

▶ スタッフのイントラレーシック体験談 3

私がレーシックを受けようと思ったきっかけは、眼鏡・コンタクトレンズの煩わしさと、年々低下していく視力への不安、また、今回の大地震のような災害時に裸眼で見えないと不便だと思ったからです。

手術前は、適応検査・個人に合ったレーシックの選択・細やかな説明・カウンセリングがあり、手術に対しての心構えがしっかりと出来ました。

手術当日は、やはり不安や恐怖から、とても緊張していましたが、手術中は痛みもほとんど感じず、思っていたイメージよりも、あっという間に手術は終了しました。

翌朝、目が覚めた時、目の前の視界がはっきりと見え、視力回復をすぐに実感することが出来、とても驚きました。思わず「コンタクトをつけたまま寝てしまった!!」と焦るほどでした。起床時、工作中、スポーツ時、旅行中など日常生活の様々な場面で顔を出していた「見えない」というストレスから開放されました。たった数分の手術で、得られる喜びは多く、こんなにも快適な生活を送ることが出来るようになったことが、とても嬉しく、レーシックを受けて本当に良かったと思います。